

キク科 ノニガナ属

オオジシバリ (大地縛り)

Ixeris japonica (Burm.f.) Nakai

自生環境

野原、水辺、あぜ など

原産地

日本在来

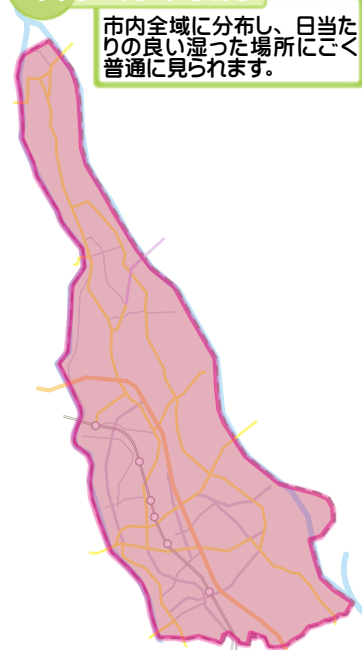
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域に分布し、日当たりの良い湿った場所にごく普通に見られます。



特徴

- ☆ 日当たりの良い湿った場所にたくさん生えています。茎は地を這いながら、節々から根を下ろして広がっていきます。地縛りの名は、この姿が地面を縛りつけているように見えることにちなみます。この茎は途中でちぎれても、ちぎれた断片がそれぞれ新しい株として育っていきます。
- ☆ 春を中心に、直径3 cm くらいの黄色い花を咲かせます。1 枚の花びらのようなものが舌状花と言う1つの花で、ひとつの大きな花のように見えるのはその集合体で。タンポポに比べると舌状花の数は少なく、中心に黒い雄しべと雌しべが目立ちます。春ほどではありませんが、秋にもちらほらと開花します。
- ☆ 茎や葉をちぎると白い「乳汁」が出てきます(乳汁は無毒)。葉は根もとに行くにつれ細くなり、ひよろひよろとだらしない感じに見えます。気温が下がると紅葉します。

ニガナ属からノニガナ属へ

かつてキク科ニガナ属 (*Ixeris*) とされていたグループは、新しい研究で *Ixeris* と *Ixeridium* の2つに分割されました。その際、ニガナの仲間が *Ixeridium* のほうに分けられたため、ニガナ属は *Ixeridium* の日本名となり、*Ixeris* は新たにノニガナ属という日本名が充てられるようになりました。ノニガナ属には、オオジシバリのほか、イフニガナ、カワラニガナ、ノニガナ、ハマニガナなどが属しています。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

